

海外レポート ～タイ編～

配信日 2016/6/17
タイトレーナー 渡邊 宏朗

【はじめに】

2012年に景気のピークを迎えてもなお、多くの日系企業が進出しているタイ。足元の経済情勢の停滞感は否めないものの、タイは製造・消費の地として引き続き有望な進出国と考えられています。今回のレポートではタイの概況に加え、私が駐在しているカシコン銀行についてレポートします。

【基本情報】

タイは ASEAN の中でも工業化が進んでいる国で、「東洋のデトロイト」として自動車産業を中心とした産業集積が進展しています。GDPの構成比においては製造業約 28%：商業が約 14%：農業約 11%となっており自動車関連と電気・電子が工業の2本柱となっています。近年においては国民所得の上昇を受け、生産だけでなく消費マーケットとしても注目されています。

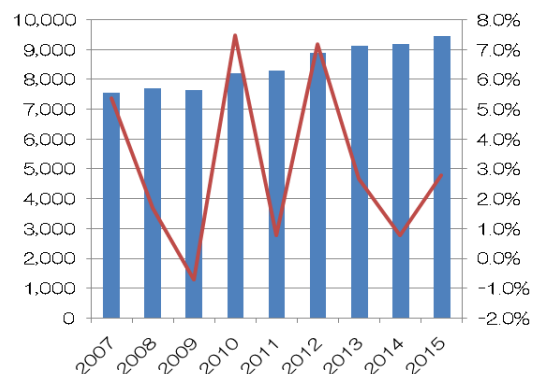
経済については、2009年にはリーマンショック、2011年には大洪水、2012年には自動車補助金政策による内需拡大、2014年には現政権による軍事クーデターといったプラスマイナス両面での特殊要因があったものの総じて堅調なGDP成長率を維持しています。2016年のGDP成長率についてはタイ中央銀行予想は 3.1%（2016年4月時点）と2015年の2.8%を上回る見通しを発表しており、引き続き堅調な経済成長が見込まれています。

政治においては、未だ軍事政権下にあるものの現在、2017年以降の民政移管に向けて新憲法草案作成等の準備が進められており、今後の動向が注目されています。

【タイの基本情報】

国・地域名	タイ王国
面積	約 51 万平方キロメートル
人口	6,676 万人（2013 年）
日本人人口	64,285 人 （2014 年 10 月 1 日現在。出所： 外務省「海外在留邦人数調査統計」）
首都	バンコク
言語	タイ語
政体	立憲君主国
宗教	人口の約 95%が上座部仏教
通貨	タイバーツ(THB) 1THB=3.18 円 （当行 2016 年 5 月仮換算レート）

【GDP成長率推移：Billion THB/%】



(出所) Statistic Data(Bank of Thailand),
Report for Selected Countries and Subjects
(International Monetary Fund)より自主作成

【日系企業・生活環境】

タイには日系企業が多く進出しており、商務省に登録されている日系企業は、休業中や撤退した企業を含むものの、累計で 8,890 社（2014 年 11 月時点）、バンコク日本人商工会議所会員企業数は 1,615 社（2015 年 4 月時点）となっており、会員数は年々右肩上がり増加しています。

進出業種については、近年ではサービス産業の進出も活発になっており、JETROの調査によれば、2014年の業種毎の進出企業数は、2008年と比べ製造業が+14.3%であるのに対してサービス産業は+25.8%と、製造業を上回る企業数が進出しています。また、タイに居住する日本人も多く、外務省統計によればタイ国在留邦人は64,285人と発表されています。さらに、出張者などを入れると実態は8万人～10万人とされています。

このように、日本人が多く居住していることから、バンコクにおいては多くの日本食店が軒を連ね、「日本村モール」や「日本街モール」といった和食や居酒屋を中心とした飲食モールだけでなく街中にも日本と変わらない日本食店があり、その数は2,000店舗を超えとも言わ



日本街モール



日本人が多く住むエリア

れています。そのため、日常生活において日本食に苦労することはありません。また、日本食材を取り扱うスーパーがあり、ローカル資本のスーパーにおいても日本食材を購入することが出来ます。最近では新たな流通チャンネルとしてエリアを限定した宅配サービスも登場しており、お米や冷凍食品、飲料などを自宅まで届けてくれますので、高価格（日本製品は日本の約2倍～4倍）ではあるものの、日本食で生活する環境が整っています。

その他、レンタカー、フィットネスクラブ、美容・理容室、携帯電話代理店、大手アパレル小売店等が進出していることから日本人が生活する上で不自由を感じることはほとんどなく、手に入らないものが無いといっても過言ではありません。また、日本人コミュニティも形成されているので余暇の過ごし方など駐在員にとっては他のASEAN諸国と比べて生活し易い環境が揃っています。

【カシコン銀行について】

池田泉州銀行とカシコン銀行は研修生の相互受入、タイ現地での日系企業への金融サービスの提供、タイにおける投資環境・規制等タイビジネスに関するコンサルティング業務を目的に平成24年11月に業務協力協定を締結しております。

カシコン銀行はタイローカル商業銀行における大手銀行で子会社にリース、保険、シンクタンク等を抱える金融コングロマリットです。また、早くから日系ビジネスに取り組んでいる銀行でもあります。例えば、今では当たり前になりましたが、タイローカル銀行の中でもいち早くATMの日本語対応化、日本語対応店舗の設置、日本語コールセンターの設置など日系ビジネスのパイオニア

として在タイ日系企業向けサービスに取り組んでいることや、日系企業向けのセミナー・商談会の開催、ビジネスマッチング等を通して日系企業のタイビジネスサポートを行っています。

カシコン銀行には日本語の話せるタイ人スタッフが在籍していることや私のような出向者も駐在していることから、現地の金融サービスについてのご相談や各種お問い合わせは日本語でご相談いただくことも可能ですので、進出後間もない企業や日本からでも安心してご相談いただくことが出来ます。また、地元大手銀行ならではの多様なサービスを提供しているため、既に進出済みの企業の幅広いニーズにもお応えすることが可能です。

【カシコン銀行概要（2016年3月31日現在）】

社名	KASIKORNBANK PCL
CEO兼会長	バントゥーン・ラムサム
設立	1945年
総資産	2兆6,437億バーツ
店舗数	1,120カ店
従業員数	21,364人
ATM数	9,306台



日本語窓口のあるスクンウィット 33 支店

【カシコン銀行ジャパンデスクURL】

<http://www.kasikornbank.com/japandesk/Introduction/Pages/Introduction.aspx>

【文化・習慣】

～ タイ流の挨拶について ～

TVや現地で「サワディーカップ（カー）」と言いながら合掌をするタイ人については皆さんよくご存じではないでしょうか。タイでは、朝でも夜でも人と会う度に誰もがやっている挨拶で、街中を歩いていても、飲食店やスーパー等でもこのようなタイ人を見かけない日はありません。この合掌する仕草は「ワイ」と呼ばれているのですが、作法や幾つかの種類があります。

基本姿勢としてのワイは、胸元で両手を合わせお辞儀をするというシンプルなものですが、目上の人、同じ年の人、年下の人などといった相手により基本姿勢が変化します。

目上の人	親指が鼻の辺り、人差し指が額に来るように両手を合わせお辞儀をする。その際手は挙げず頭を下げる。
同じ年の人	親指が顎の辺り、人差し指が鼻の頭に来るように両手を合わせお辞儀をする。
年下の人	胸元で両手を合わす。自分から年下へのワイはNG（長生きできないと信じられている）。

※ 上記の他にも、両親や先生、僧に対する「ワイ」があります。

また、合掌についても日本人が行うような合掌とは異なり、タイ人ならではの合掌の形があります。一般に、日本においては合掌と言えば両手に空間を作らないよう手を合わせるかと思いますが、タイでは両手にわずかに空間を作り、花のつぼみのような形を作ります。そして、その空間に「思いやり」や「敬う心」などその人に対する気持ちをこめるようです。



オフィス前の朝の光景（女性は僧侶に触れてはいけません）



工事現場の看板

郷に入れば郷に従えと言いますが、この「ワイ」はタイで仕事や生活をする方においてはタイ入門の第一歩ではないでしょうか。

【展示会情報】

タイでは毎年多くの展示会が開催され、日系企業を含めた企業が出展・来場し自社の海外ビジネスにおける情報収集・販路開拓・仕入先開拓等の場が提供されています。

主要な展示会ではタイだけでなく他のASEAN諸国や中国から来場する方も増えていることから日系企業にとってもビジネスのチャンスは広がっています。

～2016年の主な商談会～

● Thaifex-World of Food Asia 2016

開催日 : 2016年5月25日～29日（開催済）

開催地 : バンコク

会場 : IMPACT Exhibition & Convention Center

URL : <http://www.worldoffoodasia.com/>

対象業種 : ハラル食品、食品技術、フードケータリング、ホスピタリティサービス、小売/フランチャイズ等

● SUBCON THAILAND2016

開催日 : 2016年5月11日～14日(開催済)
開催地 : バンコク
会場 : Bangkok International Trade & Exhibition Centre
URL : <http://www.subconthailand.com/>
対象業種 : コンポーネント及び自動車部品、電気電子部品、ファスナー、金型設計、オートメーション・ソリューションプロバイダ、ソフトウェア、表面処理、産業サプライ・サービス等

● Mfair バンコク 2016 ものづくり商談会 (池田泉州銀行共催)

開催日 : 2016年6月22日～24日
開催地 : バンコク
会場 : Bangkok International Trade & Exhibition Centre
URL : <http://mfairshow.com/main/home>
対象業種 : 製造業および製造業関連企業

● METALEX2016

開催日 : 2016年11月23日～26日
開催地 : バンコク
会場 : Bangkok International Trade & Exhibition Centre
URL : <http://www.metalex.co.th/>
対象業種 : 金属部品・製品、製造・加工、電気・電子機器製造、航空宇宙・自動車、パーツ製造等

以上の展示会以外にも、工業・サービス産業問わず多くの展示会が開催されていますので、市場調査、情報収集の場として活用してみても如何でしょうか。

- 1.このレポートの内容は、情報の提供を目的としたものであり、本レポートに関連して生じた一切の損害について、株式会社池田泉州銀行(以下「当行」という)および当行グループは責任を負いません。ビジネスに係る最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- 2.このレポートに記載されている情報には公開情報からの引用および著者の個人的見解が含まれております。かかる情報の正確性・適切性等について当行および当行グループは何らの検証も行っており、また、これを保証するものではありません。
- 3.このレポートの内容は、お客様限りでご使用下さい。当行および当行グループの事前承諾なく、本レポートの全部若しくは一部を引用または、複製、転送等により使用することを禁じます。